

'21 ミス日本「海の日」吉田さくらさん

◆ 【さくらの休日 第4回】 ①

海を育む山と森を訪ねて

【海と山の大きな関わり】

朝晩と爽やかな風が吹き、秋の訪れを感じるようになりました。今年の夏を振り返ると、人生で一番、海を楽しむことができたと思います。ミス日本「海の日」に選出され、活動の中で海に行く機会が増えたことがとても嬉しかったです。プライベートで海を訪れる際にも、ただ海を楽しむのではなく、こういった港やマリナーがあるのか、目が向くようになり、海で働く人々の仕事内容にも自然と興味を抱くようになりました。

海なし県である群馬県出身の私にとって、幼少期に海へ行くことは夏のビッグイベントでした。日常で海を見る機会がないため、「海」を特別意識したこともなかったのです。しかし、最近になり、ミス日本の活動を通じてSDGsを学び、海や船について知識を深める機会に恵まれたことで、海のない群馬県も海に大きな関わりを持つことが分かりました。

先日、ある山岳冊子の撮影で群馬県みなかみ町に伺う機会がありました。谷川岳の「天神平」や「一ノ倉沢」、その近くに新たに完成した「谷川岳インフォメーションセンター」、そして現在は無人駅のJR土合駅にて、かつて実際に利用されていた駅務室を改装した「モグラカフェ」など多くの観光スポット取材しました。私は幼少期にみなかみ町を訪れたことがあったのですが、当時の記憶と比べて施設がかなり進化していて驚きました。

大自然に恵まれたみなかみ町では、少し冷たくて、透き通ったような新鮮な空気を身体いっぱいに感じることができます。顔を上げれば美しい山々に囲まれ、下を見れば清らかに川の水が流れていました。

海はないけれど、山と川をはじめとした大自然に恵まれている群馬県。思い返せば、私は常に豊かな自然に囲まれて生活をしていました。大学進学を機に上京して、群馬の自然が恋しくなったのを思い出します。群馬県は海に全く関係がないと思っていたのですが、ミス日本「海の日」の活動を通して、そうではないことが分かりました。一見関係がないように思える群馬県と海ですが、どのような関わりがあるのか考えていきたいと思っています。

「海員だより」